

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	独立行政法人日本芸術文化振興会運営費交付金に必要な経費			担当部局庁	文化庁		作成責任者	
事業開始年度	平成15年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	企画調整課		企画調整課長 寺本恒昌	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人日本芸術文化振興会法 第3条			関係する 計画、通知等	文化芸術推進基本計画(平成30年3月6日閣議決定)			
政策	12 文化芸術の振興			主要経費	その他の事項経費			
施策	12-4 文化芸術を推進するプラットフォームの形成							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_12-4.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	芸術家及び芸術に関する団体が行う芸術の創造または普及を図るための活動その他の文化の振興または普及を図るための活動に対する援助を行い、あわせて、我が国古来の伝統的な芸能の公開、伝承者の養成、調査研究等を行い、その保存及び振興を図るとともに、我が国における現代の舞台芸術の公演、実演家等の研修、調査研究等を行い、その振興及び普及を図り、もって芸術その他の文化の向上に寄与することを目的とする。							
現状・課題 (5行程度以内)	振興会は以下に示すような課題に対応していくことにより、持続的な開発への貢献等様々な社会的諸要請に応え、芸術その他の文化の向上に寄与する施策を実施することが求められている。 ・我が国の文化芸術活動に対する援助に関する中核的な拠点として、アーツカウンシル機能(専門家による助言、審査、評価等)の強化を図ること。 ・振興会がより幅広く多くの人々に鑑賞機会を提供していくため、新たな観客層の開拓・育成等を図ること。 ・再整備された国立劇場が、我が国の誇る文化芸術の魅力を世界に発信し、文化観光の中核的拠点としても機能するように、国立劇場としてふさわしい在り方を検討すること。 ・現代舞台芸術分野においては、国内で優れたアーティストが切磋琢磨する環境を醸成すること。 ・振興会が所蔵する公演映像等の各種資料についてデジタルアーカイブ化を推進し、映像配信・公開・利用を促進するとともに、我が国の優れた舞台芸術公演について、外部の関係機関と連携協力体制を構築しつつ、情報発信機能の充実について検討すること。 ・伝統芸能分野の課題解決に向けて振興会が中心的役割を果たしながら、その上で伝統芸能分野の養成研修については、応募者の増加と研修生の就業定着を図ること。 ・公演事業における収支の改善を図るとともに、多様な財源の獲得に努めること。							
事業概要 (5行程度以内)	国立劇場、国立演芸場、国立能楽堂、国立文楽劇場、国立劇場おきなわ、新国立劇場を設置し、それぞれの施設の理念・目的に基づき、文化芸術活動に対する援助、伝統芸能の公開及び現代舞台芸術の公演、伝統芸能の伝承者の養成及び現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修、伝統芸能及び現代舞台芸術に関する調査研究の実施並びに資料の収集及び活用等の事業を有機的・体系的に行う。							
事業概要URL	-							
実施方法	交付							
補助率等	-							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	10,600	10,640	11,515.9	11,798.3	12,678.6	
		補正予算(B)	903	497	-	-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-		
		予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	11,503	11,137	11,515.9	11,798.3	12,678.6		
	執行額(G)		11,503	11,137	11,515.9			
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	100%			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		100%	100%	100%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		独立行政法人日本芸術文化振興会運営費		舞台芸術グローバル拠点事業等による増 要求額のうち「重要政策推進枠」589百万円			
		(目)	独立行政法人日本芸術文化振興会運営費交付金	11,798				12,679
			その他					
	計(A)		11,798.3	12,678.6				

活動内容① (アクティビティ)		伝統芸能の伝承者の養成、現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		伝統芸能の伝承者の養成及び現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修	研修生の修了者数	活動実績	人	30	31	35	－	－
				当初見込み	人	31	33	36	28	－
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	中期目標において、「振興会は、伝統芸能の保存振興、現代舞台芸術の振興普及を図るため、伝統芸能の伝承者の養成及び現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修を長期的な視点に立ち効果的かつ効率的に実施する必要がある」とされており、指標として研修修了者の状況が定められていることを踏まえて、成果目標として設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9 年度	
		独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価について、伝統芸能の伝承者の養成及び現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修の項目で標準評価以上の評価を受ける。	文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合) 中期目標の期間(令和5年度～令和9年度)	成果実績	%	100	100	100	－	
				目標値	%	100	100	100	100	
				達成度	%	100	100	100	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		独立行政法人日本芸術文化振興会の業務の令和4年度における業務の実績に関する評価(文部科学大臣)								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	中期目標・中期計画において定めた計画に沿った事業が行われたかについては、各年度評価をもとに中期目標期間終了後に作成される中期目標期間実績評価にて評価されること踏まえて、当該評価を成果目標として設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
		独立行政法人通則法に基づく主務大臣による第5期中期目標期間実績評価のうち、伝統芸能の伝承者の養成及び現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修の項目について、標準評価以上の評価を受ける。	文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合) 中期目標の期間(令和5年度～令和9年度)	成果実績	%	－	－	100	－	
				目標値	%	－	－	100	100	
				達成度	%	－	－	100	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		独立行政法人日本芸術文化振興会の第5期中期目標期間における業務の実績に関する評価(文部科学大臣)								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容② (アクティビティ)		伝統芸能に関する調査研究の実施並びに資料の収集及び活用、現代舞台芸術に関する調査研究の実施並びに資料の収集及び活用、伝統芸能及び現代舞台芸術に関する公演記録の作成・活用、普及活動の実施を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		伝統芸能及び現代舞台芸術に関する調査研究の実施並びに資料の収集及び活用	展示公開来場者数(伝統芸能分野)	活動実績	人	48,920	81,185	131,745	－	－
				当初見込み	人	211,967	48,609	66,942	101,767	－
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	中期目標において、「振興会は、伝統芸能及び現代舞台芸術の理解と促進を図るため、研究者・教育者、文化芸術関係組織・機関等及び一般に幅広く提供する必要があります」とされており、指標として展示公開の来場者数が定められていることを踏まえて、成果目標として設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9 年度	
		独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価について、伝統芸能及び現代舞台芸術に関する調査研究の項目で標準評価以上の評価を受ける。	文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合) 中期目標の期間(令和5年度～令和9年度)	成果実績	%	100	100	100	－	
				目標値	%	100	100	100	100	
				達成度	%	100	100	100	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		独立行政法人日本芸術文化振興会の業務の令和4年度における業務の実績に関する評価(文部科学大臣)								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	中期目標・中期計画において定めた計画に沿った事業が行われたかについては、各年度評価をもとに中期目標期間終了後に作成される中期目標期間実績評価にて評価されること踏まえて、当該評価を成果目標として設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
		独立行政法人通則法に基づく主務大臣による第5期中期目標期間実績評価のうち、伝統芸能及び現代舞台芸術に関する調査研究の項目について、標準評価以上の評価を受ける。	文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合) 中期目標の期間(令和5年度～令和9年度)	成果実績	%	－	－	100	－	
				目標値	%	－	－	100	100	
				達成度	%	－	－	100	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		独立行政法人日本芸術文化振興会の第5期中期目標期間における業務の実績に関する評価(文部科学大臣)								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

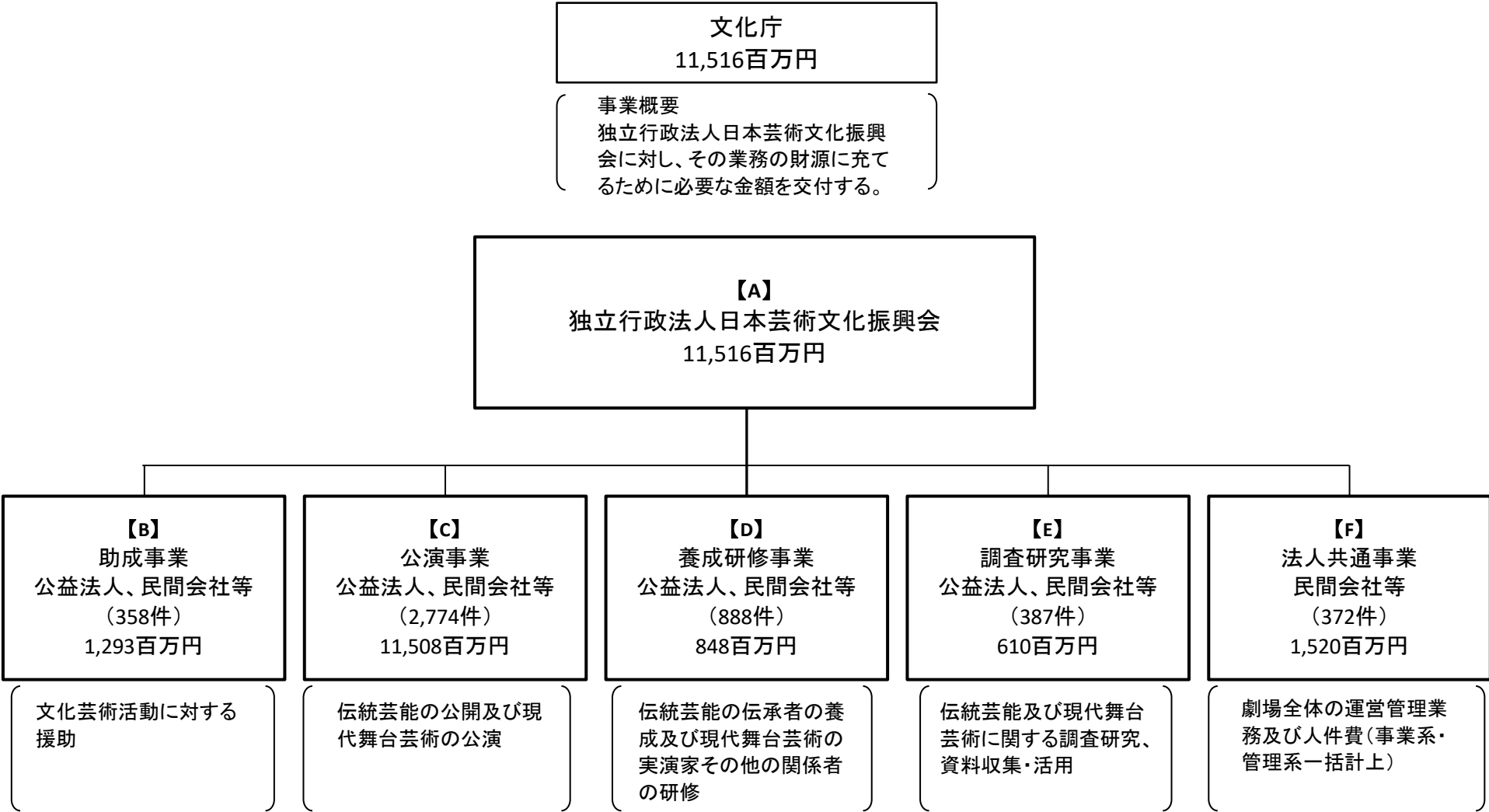
活動内容③ (アクティビティ)		芸術家及び芸術に関する団体が行う芸術の創造または普及を図るための活動その他の文化の振興または普及を図るための活動に対する援助を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		文化芸術活動に対する援助	芸術文化振興基金の運用収入等を財源とする助成金の交付件数	活動実績	件	443	466	431	－	－
				当初見込み	件	608	555	426	454	－
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	中期目標において、「振興会は、我が国の文化芸術振興の中核的拠点として、芸術の創造又は普及を図るための活動、地域の文化の振興を目的として行う活動などに対して多様な資金を活用した文化芸術活動に対する助成金の交付及びこれらに関する情報提供などに積極的に取り組む必要がある」とされており、指標として助成金の交付状況が定められていることを踏まえて、成果目標として設定した。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9 年度	
		独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価について、文化芸術活動に対する援助の項目で標準評価以上の評価を受ける。	文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合) 中期目標の期間(令和5年度～令和9年度)	成果実績	%	100	100	100	－	
				目標値	%	100	100	100	100	
				達成度	%	100	100	100	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		独立行政法人日本芸術文化振興会の業務の令和4年度における業務の実績に関する評価(文部科学大臣)								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	中期目標・中期計画において定めた計画に沿った事業が行われたかについては、各年度評価をもとに中期目標期間終了後に作成される中期目標期間実績評価にて評価されること踏まえて、当該評価を成果目標として設定した。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
		独立行政法人通則法に基づく主務大臣による第5期中期目標期間実績評価のうち、文化芸術活動に対する援助の項目について、標準評価以上の評価を受ける。	文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合) 中期目標の期間(令和5年度～令和9年度)	成果実績	%	－	－	100	－	
				目標値	%	－	－	100	100	
				達成度	%	－	－	100	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		独立行政法人日本芸術文化振興会の第5期中期目標期間における業務の実績に関する評価(文部科学大臣)								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容④ (アクティビティ)		主催公演、快適な観劇環境の形成、広報・営業活動の充実、劇場の使用効率の向上等を行う。									
↓											
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		伝統芸能の公開	伝統芸能の保存と振興を図ることを目的とした主催公演数	活動実績	件	123	157	172	－	－	
				当初見込み	件	185	168	172	154	－	
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	中期目標において、「振興会は、伝統芸能の保存振興及び現代舞台芸術の振興普及を図るため、幅広く多くの人が鑑賞できるよう、伝統芸能の公開及び現代舞台芸術の公演を行う必要がある」とされており、指標として伝統芸能の公開の公演数が定められていることを踏まえて、成果目標として設定した。									
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9 年度		
		独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価について、伝統芸能の公開及び現代舞台芸術の公演の項目で標準評価以上の評価を受ける。	文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合) 中期目標の期間(令和5年度～令和9年度)	成果実績	%	100	100	100	－		
				目標値	%	100	100	100	100		
				達成度	%	100	100	100	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人日本芸術文化振興会の業務の令和4年度における業務の実績に関する評価(文部科学大臣)									
↓	成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	中期目標・中期計画において定めた計画に沿った事業が行われたかについては、各年度評価をもとに中期目標期間終了後に作成される中期目標期間実績評価にて評価されること踏まえて、当該評価を成果目標として設定した。									
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度		
		独立行政法人通則法に基づく主務大臣による第5期中期目標期間実績評価のうち、伝統芸能の公開及び現代舞台芸術の公演の項目について、標準評価以上の評価を受ける。	文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合) 中期目標の期間(令和5年度～令和9年度)	成果実績	%	－	－	100	－		
				目標値	%	－	－	100	100		
				達成度	%	－	－	100	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人日本芸術文化振興会の第5期中期目標期間における業務の実績に関する評価(文部科学大臣)									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									
		－									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	－									
	URL	－									
	該当箇所	－									

事業所管部局による点検・改善		
点検結果	・アクティビティ①については、退所者1名を除き、当初見込みとおり研修を修了した。 ・アクティビティ②については、当初見込みを大きく上回った。 ・アクティビティ③については、概ね当初見込み件数の助成金交付を行った。 ・アクティビティ④については、感染症対策を講じたうえで、計画通り公演を実施した。 ・支出先の選定に当たっては、一般競争入札による調達を実施し、他の調達についても共同調達の実施、複数年契約への移行、契約監視委員会による厳正な審査を行うなど、競争性の確保、単位あたりのコスト削減に努めている。	目標年度における効果測定に関する評価（令和10年度実施）
		－
改善の方向性	・アクティビティ①については、引き続き養成事業について周知を図るとともに、研修生のメンタルヘルスマネジメント研修等を実施する。 ・アクティビティ②については、主催公演と連動した展示や、鑑賞教室に合わせた入門展示など、引き続き来場者の確保に取り組む。 ・アクティビティ③については、応募状況等を踏まえて引き続き助成金の交付を行う。 ・アクティビティ④については、計画通り公演を実施できるように引き続き取り組む。 ・一者応札改善のために、契約監視委員会において契約内容を点検を行い、仕様書の改善や複数年契約への移行等により、契約の競争性・公平性・透明性を確保する。	
外部有識者の所見		
外部有識者による点検対象外		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見		
事業内容の一部改善	この事業は、一者応札・応募となった契約があることから、原因を分析し、引き続き競争参加条件等の見直しを図るなど具体的かつ実効性のある取組を行い、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。	
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		
執行等改善	一者応札改善のために、契約監視委員会において契約内容を点検を行い、仕様書の改善等により、契約の競争性・公平性・透明性を確保する。相手方が限定される随意契約については、経済性を損なうことがないよう留意し、随意契約が真に適切であるかを確認しながら、効果的かつ効率的な予算執行に努める。	
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	
	－	
	－	
	上記への対応状況	
	－	
	その他の指摘事項	
	－	
－		
上記への対応状況		
－		
－		
備考		
－		

関連する過去のレビューシートの事業番号																												
平成23年度	386																											
平成24年度	409																											
平成25年度	374																											
平成26年度	368																											
平成27年度	364																											
平成28年度	344																											
平成29年度	353																											
平成30年度	356																											
令和元年度	文部科学省	-			0393																							
令和2年度	文部科学省				0394																							
令和3年度	2021	文科	20	0419																								
令和4年度	2022	文科	21	0424																								

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



※【B～F】には、当該年度運営費交付金の執行分のほか、自己収入を財源とした執行を含むため、文化庁の執行額とは一致しない。

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	事業費(物件費)	養成研修費、資料収集活用費、業務委託費等(内訳は、B～F参照)	6,404	業務委託費	カナダにおける文化芸術活動に対する助成システム等に関する実態調査	35
	事業費(人件費)	事業系人件費	2,249			
	一般管理費(物件費)	業務委託費、借料及び損料、機械保守費、旅費、消耗品費等	1,817			
	一般管理費(人件費)	管理系人件費	1,046			
	計		11,516	計		35
	C.			D.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	業務委託費	令和4年度新国立劇場業務委託	3,920	業務委託費	令和4年度新国立劇場業務委託	463
	計		3,920	計		463
	E.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	業務委託費	令和4年度国立劇場おきなわ業務委託	65	業務委託費	情報基盤に係る基幹ネットワークシステム及び仮想デスクトップシステムの調達	154
	計		65	計		154
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人日本芸術文化振興会	7010005006877	我が国の芸術その他の文化の向上を図ることを目的として、 (1)文化芸術活動にたいする援助(2)伝統芸能の保存及び振興(3)現代舞台芸術及び普及等の事業を行う	11,516	運営費交付金交付	-	-	-
B								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	Nomura Research Institute Singapore Pte.Ltd.	-	カナダにおける文化芸術活動に対する助成システム等に関する実態調査	35	随意契約(企画競争)	1	-	-
2	株式会社富士通総研	8010401050783	「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」業務委託	34	一般競争契約(総合評価)	2	-	-
3	東京センチュリー株式会社	6010401015821	助成業務システムの更改及び保守運用支援業務等一式	24	一般競争契約(最低価格)	1	-	-
4	東京センチュリー株式会社	6010401015821	クライアントパソコン一式の賃貸借	2	一般競争契約(最低価格)	1	-	-
5	株式会社文化科学研究所	8010401025918	文化芸術活動に係る評価手法に関する実態調査	19	随意契約(企画競争)	1	-	-
6	株式会社リオ・コンサルティング	1010001091482	基金部分室の賃料・電気料・水道料・火災保険料	10	随意契約(その他)	-	-	-
7	東京コンピュータサービス株式会社	3010001005226	データ抽出ツール構築及び抽出業務	6	一般競争契約(最低価格)	2	-	-
8	東京コンピュータサービス株式会社	3010001005226	クライアントソフトウェアの調達	0.3	随意契約(少額)	3	-	-
9	公益財団法人新潟市芸術文化振興財団	5110005014839	令和4年度アーツカウンシル・ネットワークに関する運営業務委託	3	随意契約(その他)	-	-	-
10	サンフロンティアスペースマネジメント株式会社	1010401144807	会議室使用料	2	随意契約(少額)	-	-	-
11	株式会社ブルーホップ	6010001056290	令和4年度助成金交付要望書・実績報告書等の複製、ファイリング及び発送業務	2	一般競争契約(最低価格)	2	-	-
12	ヴァイタルサービス株式会社	4011001048528	文化芸術活動に対する助成事業に関するアンケート集計	0.5	随意契約(少額)	-	-	-
13	ヴァイタルサービス株式会社	4011001048528	助成財団検索ページ改修およびCSVデータインポート作業	0.3	随意契約(少額)	-	-	-

C

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人新国立劇場運営財団	7011005003749	令和4年度新国立劇場業務委託	3,920	随意契約(その他)	-	-	業務方法書第15条第2項第2号の規定による(新国立劇場に係る業務)
2	公益財団法人新国立劇場運営財団	7011005003749	日本博業務委託<新国立劇場>子供・若者向け文化芸術プロジェクト～現代舞台芸術との出会い～	46	随意契約(その他)	-	-	
3	公益財団法人新国立劇場運営財団	7011005003749	日本博業務委託<新国立劇場>日本人による質の高い創作作品の発信・展開プロジェクト～日本の舞台芸術の現在と未来～	42	随意契約(その他)	-	-	
4	公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団	7360005004284	令和4年度国立劇場おきなわ業務委託	557	随意契約(その他)	-	-	
5	公益財団法人文楽協会	2120005015211	令和4年度文楽公演に関する上演契約に基づく公演出演料	445	随意契約(その他)	-	-	
6	株式会社パシフィックアートセンター	6010001054501	令和4年度国立劇場本館主催公演舞台技術業務の委託	132	随意契約(その他)	-	-	
7	株式会社パシフィックアートセンター	6010001054501	令和4年度国立劇場本館及び国立演芸場舞台・楽屋業務の委託	68	随意契約(その他)	-	-	
8	株式会社パシフィックアートセンター	6010001054501	令和4年度国立劇場大劇場、小劇場及び国立演芸場舞台照明業務の委託	48	随意契約(その他)	-	-	
9	株式会社パシフィックアートセンター	6010001054501	令和4年度国立劇場大劇場、小劇場及び国立演芸場舞台音響業務の委託	33	随意契約(その他)	-	-	
10	株式会社パシフィックアートセンター	6010001054501	令和3・4年度国立能楽堂舞台及び楽屋業務の委託	11	随意契約(その他)	-	-	
11	株式会社パシフィックアートセンター	6010001054501	令和3・4年度国立劇場大劇場、小劇場及び国立演芸場の座席の設置・撤去業務の委託	8	随意契約(不 落・不調)	1	-	-
12	株式会社パシフィックアートセンター	6010001054501	令和3・4年度国立能楽堂舞台音響、舞台照明等技術業務委託	7	一般競争契約 (最低価格)	1	-	-
13	日本総合舞台美術株式会社	3010501010485	令和4年度大道具・小道具の賃貸借及び管理等業務委託	221	随意契約(その他)	-	-	
14	日本総合舞台美術株式会社	3010501010485	令和4年度レクチャーデモンストレーション「楽しもう！演芸の世界」特設舞台の大道具及び音響・照明機材の設置撤去等業務委託	2	随意契約(その他)	-	-	
15	松竹株式会社	6010001034809	令和5年初春歌舞伎出演契約に基づく出演料	67	随意契約(その他)	-	-	
16	松竹株式会社	6010001034809	令和4年10月歌舞伎出演契約に基づく出演料	59	随意契約(その他)	-	-	
17	松竹株式会社	6010001034809	令和4年11月歌舞伎出演契約に基づく出演料	23	随意契約(その他)	-	-	
18	松竹株式会社	6010001034809	令和4年6月歌舞伎鑑賞教室出演契約に基づく出演料	22	随意契約(その他)	-	-	
19	松竹株式会社	6010001034809	令和5年3月歌舞伎出演契約に基づく出演料	21	随意契約(その他)	-	-	
20	松竹株式会社	6010001034809	令和4年7月歌舞伎鑑賞教室出演契約に基づく出演料	19	随意契約(その他)	-	-	
21	東京電力パワーグリッド株式会社	3010001166927	国立劇場及び国立能楽堂電気料	176	随意契約(その他)	-	-	
22	スペースラボ株式会社	2011001062539	令和4年度バーチャル日本博保守・運用業務	122	随意契約(その他)	-	-	
23	独立行政法人国立文化財機構	3010505001183	日本博業務委託<「国宝東京国立博物館のすべて」及び特別展連携メタバース>	87	随意契約(その他)	-	-	
24	独立行政法人国立文化財機構	3010505001183	日本博業務委託<特別企画「大安寺の仏像」>	18	随意契約(その他)	-	-	
25	独立行政法人国立文化財機構	3010505001183	日本博業務委託<特別展「国宝 聖林寺十一面観音―三輪山信仰のみほとけ」>	10	随意契約(その他)	-	-	
26	パーソルテンプスタッフ株式会社	1011001015010	令和3・4年度国立劇場チケット電話予約受付等業務及び会員事務局業務の委託	109	一般競争契約 (総合評価)	1	-	-
27	パーソルテンプスタッフ株式会社	1011001015010	販売計画業務に係る労働者派遣	3	随意契約(その他)	-	-	

D

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人新国立劇場運営財団	7011005003749	令和4年度新国立劇場業務委託	463	随意契約(その他)	-	-	
2	公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団	7360005004284	令和4年度国立劇場おきなわ業務委託	53	随意契約(その他)	-	-	
3	日本総合舞台美術株式会社	3010501010485	養成研修公演大道具・小道具の賃貸及び管理等業務委託	19	随意契約(その他)	-	-	
4	東京電力パワーグリッド株式会社	3010001166927	国立劇場及び国立能楽堂電気料	9	随意契約(その他)	-	-	
5	株式会社パシフィックアートセンター	6010001054501	養成研修公演舞台技術業務の委託	5	随意契約(その他)	-	-	
6	株式会社パシフィックアートセンター	6010001054501	養成研修公演舞台照明業務の委託	2	随意契約(その他)	-	-	
7	松竹衣裳株式会社	6010001046003	養成研修公演舞台衣裳の賃貸借及び着付等業務委託	6	随意契約(その他)	-	-	
8	公益財団法人文楽協会	2120005015211	令和4年度文楽公演に関する上演契約に基づく養成研修公演出演料	6	随意契約(その他)	-	-	
9	首都圏ビルサービス協同組合	1010405002003	(独)日本芸術文化振興会施設(隼町地区及び国立能楽堂)警備等業務	5	一般競争契約 (総合評価)	1	-	-
10	株式会社トーカンオリエンス	7011401010984	国立劇場及び国立能楽堂構内清掃業務	5	一般競争契約 (総合評価)	3	-	-
11	東京演劇かつら株式会社	8010001122090	養成研修公演かつらの賃貸借	3	随意契約(その他)	-	-	

